

印刷料金に関する調査業務

～ 印刷物発注・積算のための基準・マニュアル策定業務 ～

一般財団法人経済調査会では、「国内の一般経済、特に物価及び労働問題の実態を実証的に調査究明し、もって円滑な経済活動の推進とわが国経済の発展に寄与すること（寄付行為 第3条）」を目的として、さまざまな調査・研究業務を実施しています。

■印刷物発注時の疑問点■

日常業務の中でさまざまな印刷物（チラシ、パンフレット、小冊子、伝票、広報誌etc）を発注する機会がありますが、その際の“印刷物の仕様作成”“発注予定価格の積算”についてスムーズな作業が出来ず、「印刷物の発注・積算は難解だ!」と考えている方は多いのではないのでしょうか？



■印刷物発注における環境の変化■

<環境の変化①>

これまで印刷物の契約形態は「物品購入（印刷物としての完成品を購入する）」が主流でしたが、最近では自治体を中心に「製造の請負（印刷物ごとの仕様に基づいて業者が完成させるもの）」として扱うケースが増えています。また、これに伴い一定の条件における「最低制限価格制度」の導入例も見られます。

<環境の変化②>

電子入札により「印刷物の仕様書」の役割が再認識されています。

印刷物発注について、これまで以上に、「仕様書」「積算」の重要性が高まっています

【印刷物発注・積算のための基準・マニュアル策定】により

- 印刷物発注業務の基本知識習得と手順を踏んだ仕様書作成・積算が可能
- 担当者ごとに異なっていた手法・書式の統一が可能
- 適正な予算執行とスムーズな印刷物発注業務に寄与

その他印刷料金関連調査業務のご案内

■個別印刷物の仕様書作成・印刷費積算の支援業務■

印刷物発注業務の個別事例について、「積算資料印刷料金」掲載の積算体系・項目をベースとして、仕様書作成や印刷費積算の支援業務を行います。

■印刷費積算講習の個別対応■

印刷費積算に関する内部講習・勉強会の実施要望にお応えします。プログラム内容や取扱い事例については、ご要望に応じた内容での実施が可能です。

■その他■

印刷物制作に関連した各種実態調査および大量購入用紙等の価格調査が可能です。

「積算資料印刷料金」について



年1回発行（2月）／B5判／定価3,600円（本体3,429円＋税）

<主要目次>

- 一般印刷
 - 基礎知識（仕様作成・積算概要etc）
 - 工程別料金と算出法
 - 積算事例
 - 印刷物事例別料金
- 名刺・はがき・封筒印刷
- フォーム印刷
- 複写・情報加工
- 地図調製
- 参考資料（印刷用語集etc）

一般財団法人経済調査会では、印刷物制作費積算の基礎となる印刷物制作工程とそれに係る料金を定期的に調査し、その結果を「積算資料印刷料金」に掲載しています。

掲載の印刷費積算体系は、1997年に印刷関連団体の協力のもと設立した「DTP積算体系検討委員会」で構築した積算体系をベースとしており、現在、プリプレス工程の主流となっているDTP（Desk Top Publishing：コンピュータを使用して印刷版用のデータを作成する作業）やCTP（Computer To Plate：DTPで作成したデータより製版フィルムを用いず印刷版を作成する作業）の作業に準拠した内容となっています。

「積算資料印刷料金」は、印刷物受発注における積算・見積り資料、チェック資料として活用していただいております。



Webサイト「いんさつPlaza」は「積算資料印刷料金」を補完すると同時に、印刷費積算手順のご案内を目的に2003年8月に開設しました。各種書式のダウンロードやお問合せ等のさまざまなコンテンツをご用意しています。

お問合せ先

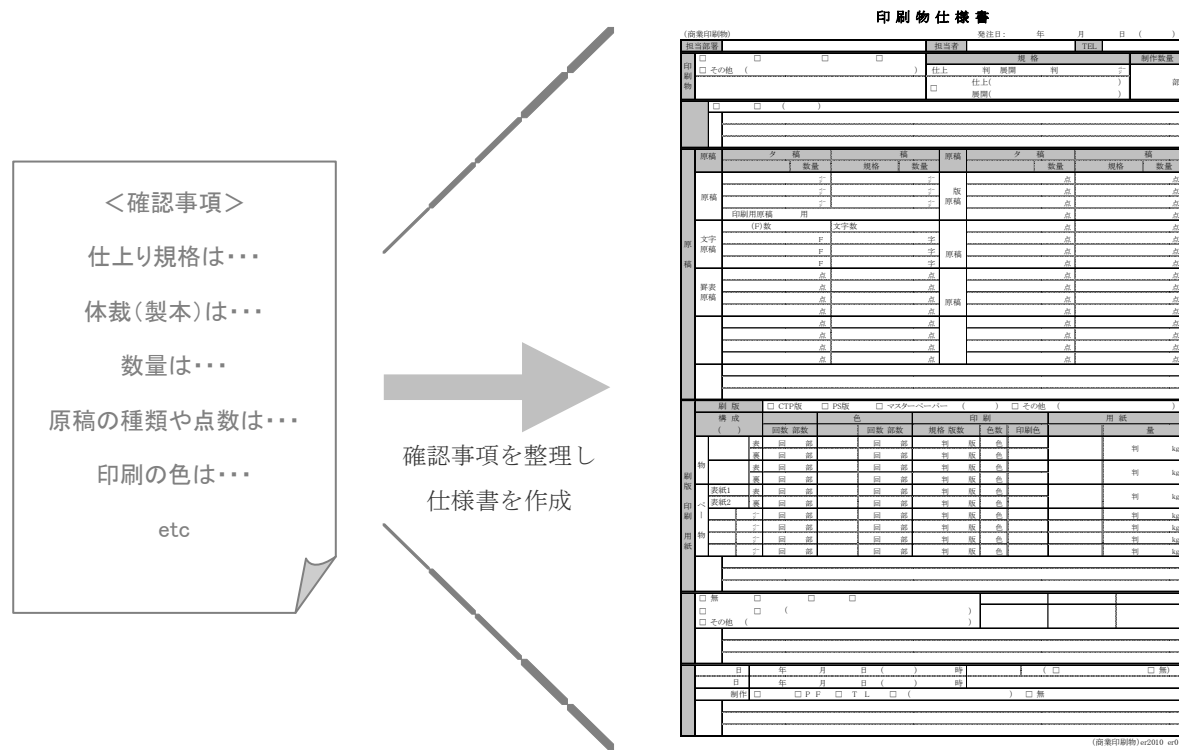
一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 調査研究部 第二調査研究室 担当：押野・高見
〒104-0061 東京都中央区銀座5-13-16 東銀座三井ビル TEL：03-3543-1462 FAX：03-3543-6516

ご照会の内容により、的確なプロポーザルや調査実施計画案の作成・説明をはじめ、見積り作成その他調査実施上の相談を承ります。

～STEP1 印刷物の仕様書作成～

印刷物の発注にあたっては、発注側として原稿の準備はもちろんのこと、印刷物の規格・体裁・数量等の情報を示す必要があります。

これらの「確認事項」を整理し一覧に示したものが「印刷物の仕様書」になります。



- <仕様書作成の効果>**
- 効果① 印刷物の仕様について情報を整理する → 発注業務の効率化
 - 効果② 受注側に正確な印刷物の仕様を伝える → 印刷物制作の効率化
 - 効果③ 印刷費の積算に必要な情報を整理する → 積算業務の効率化

<仕様書作成の疑問点>
 どのような情報を整理すればいいのか...
 どのようなフォーマットにまとめればいいのか...

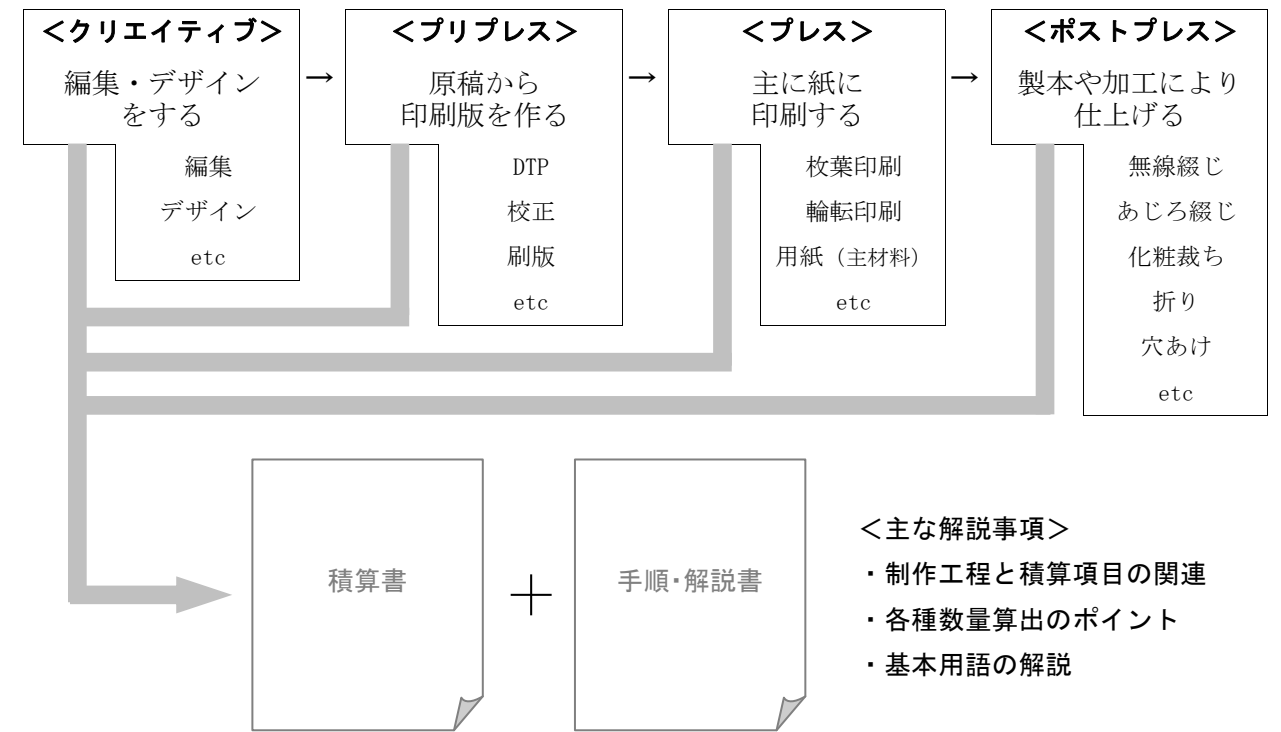
■印刷物の仕様書作成における基準・マニュアルの特徴■

印刷物是一品ごとの受注生産品で、それぞれが独自の仕様を持っているため、仕様書の作成にあたっては、印刷物ごとに整理する情報が必要があります。
基準・マニュアル策定では、発注する印刷物を種類別に分類し、代表的な印刷物をターゲットとすることで、発注機関の特性に合わせた仕様書のフォーマットを作成し、その運用を支援します。

発注仕様書作成から積算まで印刷物発注業務の全体を網羅した基準・マニュアル策定が可能です

～STEP2 印刷費の積算～

印刷費は、基本的に制作工程ごとに料金を積み上げて算出します。このため、印刷物制作工程を把握することが積算手順を理解する一つの手段となります。おおまかな制作工程は以下のとおりです。



- <印刷費積算に必要な情報>**
- 情報① 印刷物の制作工程に関する知識 → 印刷関連図書、印刷工場見学etc
 - 情報② 制作工程の選択と数量に関する情報 → 印刷物の仕様書
 - 情報③ 制作工程ごとの料金に関する情報 → 価格情報誌、業者見積りetc

<印刷費積算の疑問点>
 どのような手順で積算すればいいのか...
 どのような制作工程が妥当なのか...

■印刷費の積算における基準・マニュアルの特徴■

印刷物の制作工程は印刷物の仕様や受注側の設備状況によって千差万別です。また、ある程度の専門知識が必要となるため、印刷費の積算は難解であると考えられています。
基準・マニュアル策定では、発注する印刷物に適した制作工程を把握し、「積算資料印刷料金」掲載の積算体系をベースとした、積算書のフォーマットおよび手順・解説書を作成し、その運用を支援します。